

令和5年6月

平岩晃一理事長就任挨拶



第19回通常総会で、理事長という重責を賜りました西尾支部の(株)三光社平岩晃一です。

重責を担うことになり、身の引き締まる思いをしております。

車体整備業界は、高張力鋼板の知識や車体溶接補修の品質確保、コンピュータ診断技術を含め、今までとは違った高度な知識が必要となってきます。さらに先進安全装置や電子制御、IT化に対応する整備工場経営は厳しい状況にありますが、今後も事業を継続していくためには、自動車の高度化に対応していくことが必須です。

そのためには「電子制御装置整備」の認証取得が不可欠であり、新型車への搭載が義務化された事故情報記録装置 EDR とサイバーセキュリティ対策の強化に向けた整備対応も欠かすことができません。今後の自動運転時代をにらんで、自動車整備のあり方を大きく左右することになると予測されます。

こうした状況を組合員の皆さんに危機感とスピード感を持って伝えていく必要があると思っています。また、車体整備士や二級整備士の資格取得を支援し、業界の資質向上に努めてまいります。さらに、求められる修理費削減のためにも高度な修理技術情報の提供と意見交換など、臨機応変に対応していきたいと考えています。

組合は、業界の発展と会費を支払っていただく組合員のために存在します。その組合員を増やすためには、まず減らさない努力から始まると思っています。今は、認証を取得した後に組合を脱会しても影響が出ない状況ですが、今後は業界からの情報が生き残りの指針となるような努力をしていきたいと思えます。

情報収集は、それぞれの事業所の努力も必要です。組合に積極的に参加し意見を述べることで、それぞれの事業所の発展につながるものと考えています。

先進安全自動車の普及は世の中が望む交通安全対策ですから、私たちの仕事は当然減少していきます。車体整備業界がそうした時代の変貌に取り残されないためにも、愛車協組合員から元気になっていただきたいと思っています。

組合運営に対しては様々な意見があることは承知しています。議論することは決して悪いことではありませんが、冒頭にも申し上げたように、しっかり足下に目を向け将来を見据えて意見を交わしていきたいと思えます。業界が大変な今、組合員の皆さんには「小異を捨てて大同に付く」という気持ちも持っていただき、とくに役員は心を一つにして前進していきたいと考えています。

浅学菲才な身ではありますが組合員のための一翼を担って頑張りたいと思っておりますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。